

2020
9月号

原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会
 毎月1回6日発行
 頒価 220円
 電話 (03)5842-6031
 FAX (03)5842-6033
 〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-2-4-



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

成果を収めた被爆75年原水爆禁止 2020 世界大会
大阪集会成功～「平和の波」行動8/6～9～



被爆75年の今年、コロナ禍で広島大会が現地で開催できない状況のもと、オンラインによる世界大会が開催されました。8月2日国際会議を6日午前中に開催されたオンライン世界大会広島デー、9日長崎デーまで府下55か所900人(8月月末集約)が府下各地でとりまれました。

6日の広島デーは午前中

史上初オンラインの原水爆禁止2020年世界大会
 《核兵器のない世界》実現に確かな一歩を踏み出す



八尾・木村さん

私は8月6日の広島、8月9日の長崎の原爆投下を忘れない。世界から核兵器をなくそう。核兵器禁止条約に日本は参加をいのち輝く青い地球を未来の子どもに残すために。

平和の波
 PEACE WAVES
 核兵器禁止条約に日本は参加をいのち輝く青い地球を未来の子どもに残すために



CANのベアトリア・ヒン事務局長の発言を心に視聴

川辺大阪原水協理事長(左上写真)のあいさつに続き、オンライン世界大会45分縮刷版を上映、富田宏治氏の「主催者報告」、山田寿美子さん(広島県被団協副理事長)のヒバクシヤ証言、中満泉国連事務次長(軍縮問題担当上級代表)の報告、I



民医連の庄司さん

英さんから直筆のメッセージを紹介し、続昌司大阪原水協事務局長の「行動提起」を確認し、最後に、3分間の沈黙の中で「平和の波」行動の出発式記念撮影をおこない閉会しました。



爆者山川美川の被爆者の参加を求めず、寝屋を配

豊富な発言となりました。夜の集会を配慮して、



核兵器禁止条約調印国&批准国

署名国84カ国 スーダン 7/22 モザンビーク 8/18
 マルタ 8/25 前月より3カ国増加
 批准国44カ国 ニウエ、ナイジェリア、アイルランド 8/6 セントクリストファ・ネイビス 8/9 4カ国増加 **あと6カ国**
国際署名 61万0176筆(8月31日現在)



被爆75年原水爆禁止世界大会の意義を学ぼう!
 学習資料「2020年原水爆禁止大会オンライン8月6日広島デー集会」ビデオ47分を貸しします。DVD版・ブルーレイ版
 (無料) 大阪原水協事務局へ



◆新婦人は30支部・府本部が行動
 宣伝署名活動、149か所寺院・
 教会申し入れ
 ◆民医連は8/6中心に20医療機
 関で行動
 8月9日「平和の波」行動終結には
 府的・地域でスタンディング実施



▲旭区原水協：オンライン世界大会視聴



▲泉佐野・泉南原水協：泉佐野駅 ▲堺平和委員会：中百舌島



各地の8月6日「平和の波」行動



8月9日難波高島屋前で「平和の波」行動終結集会



▲高槻原水協：高槻駅前



▲同、夕刻高槻集会



8月9日

天王寺東口
 スタンディ
 ングと署名
 11:02
 黙とうで
 「平和の
 波」行動を
 終結



川辺原水協理事長



大商連増田孝博副会長



辰己幸太郎元参議院議員



▲吹田原水協：吹田駅前 8/9



▲東住吉平和委員会：オンライン視聴

「ノーモア・ヒバクシャ完全
 勝利をめざすつどい」で被爆
 者支援の運動に確信
 核兵器禁止条約「発効へ
 の確かな潮流のなかで」
 8月22日、大阪市内でノ
 ーモア・ヒバクシャ訴訟近畿
 弁護団、同支援近畿連絡会が
 主催する「つどい」が開催さ
 れました。現在、被爆者訴訟
 は地裁レベルが終わり、高裁
 （3件）と最高裁（1件）へ
 と移っています。主催者あい
 さつは、京都原水協の平信行
 事務局長が現状の報告を述べ
 て今回のつどいがいよいよ大
 詰めの際の決意を固めるも
 のと位置付けました。つどい
 の講演には、原水爆禁止世界
 大会起草委員会委員長の富田
 宏治関西学院大学教授の「原
 水爆禁止2020年世界大会
 で議論され合意されたこと」
 と題して、オンラインでの世
 界大会の成果を述べられました。
 新型コロナウイルスの世界
 のパンデミックの状況は、グ
 ローバルな危機であり、世界
 が共同して困難を克服してい
 かなければならない、これは
 緊急の目標である核兵器廃絶
 においても同様であり、国連
 の中満事務次官も述べられ
 ていることを紹介。死に目に
 あえないコロナ禍での死は、「
 核兵器での「人間として死ね
 ない」実態と共通して、
 世界中で「今こそ人間の尊
 厳・個人の尊厳が求められて
 いる」と強調されます。世界
 は「核兵器禁止条約」を44
 か国が批准し、あと6か国と
 なっています。国連の「核兵
 器廃絶デー」9月26日に批
 准国がさらに増える状況とな

っています。今年中に条約が
 発効する可能性が高いと述べ、
 日本政府に核兵器禁止条約へ
 の署名、さらに批准を求める
 運動をいっそう強めることが
 戦争被爆国としての重要だと
 結論づけました。次いで、近畿
 弁護団を代表して西晃弁護士
 （右・写真）が「原爆症裁判
 が切り拓いたもの、今日の課
 題」と題して国の
 行為の根本的誤り
 を背景とした国家
 補償を求める闘い
 の意義を再確認し、
 署名活動、裁判傍
 聴活動を最後まで
 諦めず地道な取り
 組みをしていくこ
 とを訴えました。
 その後、被爆者の
 お話し、支援者（大
 阪（統事務局長・
 京都（平京都被爆
 2世・3世の会代
 表）の決意がのべ
 られ、最後に閉会
 のあいさつにたっ
 た兵庫県原水協梶



本
 修
 史
 事
 務
 局
 長
 が
 1
 7
 年
 間
 の
 支
 援
 活
 動
 を
 振
 り
 返
 り
 つ
 つ、
 ヒ
 バ
 ク
 シ
 ャ
 の
 立
 場
 に
 た
 つ
 て
 最
 後
 ま
 で
 支
 援
 活
 動
 を
 展
 開
 し
 て
 い
 く
 決
 意
 を
 述
 べ
 て
 閉
 会
 し
 ま
 し
 た。

国連核兵器廃絶デー（9・26）の取り組み

◇日時：9月26日（金）11:00～12:00
 ◇場所：なんば高島屋前
 ◇加盟団体のご参加をお願いします。
 ※国連が定めた国際デーに世界の国々は
 2017年に成立した「核兵器禁止条約」
 を2018年には4か国、2019年には5か国
 が批准書を国連に寄託しています。
 50か国まであと6か国！記念すべき日に
 各国政府は批准の取り組みをします。



緊急募金の再度のお願い

日本原水協と大阪原水協は、今年の世界大会がオンライン化されたため、財政がひっ迫しています。理由は世界大会が現地開催できず、皆様の参加費が入らなかったためです。両原水協は来年度の予算が立てられないところまで来ています。実情をご考慮いただき再度募金をお願いするものです。